

T P Pめぐり意見交換



県内の農業振興について話し合った意見交換会
＝岐阜市長良福光、岐阜都ホテル

県内J Aと自民県連幹部会合

県内J Aグループと自民党県連の幹部による「T P P（環太平洋連携協定）に関する意見交換会」が12日、岐阜市長良福光の岐阜都ホテルで開かれ、今後の県内の農業振興について意見を交わした。

J A側はJ A岐阜中央会長を務めるJ Aぎふの櫻井宏代表理事組合長ら各J A代表理事組合長ら13人、自

民党側は猫田孝幹事長ら県連幹部と国会議員秘書の11人が出席した。

この日は、J A側が全国農業協同組合中央会の政策提案などを示しながら要望を説明。県連から「岐阜県版の要望を聞かせてほしい」と求められ、J A幹部は農地集約が進んでいない中山間地への支援や、政府が促す米の飼料米転換のための施設整備に対する援助を挙げた。また「農業を地方創生に加えている市町村は県内にほとんどなく、農村が取り残されていく危ぐを覚える」との声も挙げた。（古家政徳）